

市長からのメッセージ



「地域福祉計画」というと、わかりにくくてちょっと難しい言葉ですね。

「福祉」というと社会的な弱者を支援することだけを指すような誤解があるかもしれませんが、「福祉」は英語で「Welfare」。もともと「しあわせ」とか「快適な生活」といった意味があります。

「地域福祉」を「地域のしあわせ」や「地域での暮らしやすさ」と言い換えると、この計画の目指すものが見えてきそうです。

「地域福祉」は、暮らしの中でつまづいたり、困ったりしている「課題」をみんなであぶり出し、地域の中から解決策を探し出していこうというものです。

そのプロセスとして、地域懇談会などでの市民の皆さんによる話し合いがとても重要でした。各小学校区ごとに開催された地域懇談会は延べ38回開催され、675人の市民の皆さんによる活発な議論が、そこで展開されてきました。

ですから、この地域福祉計画には、策定の過程で市民の皆さんの思いがたくさん詰まっています。そう、市民の皆さんによる手作りの計画といってもいいのです。

すでに、各地域で市民の皆さんによる「地域のしあわせ」のための自主的な取り組みがどんどん進められています。全国に誇れるくらい実に素晴らしいことです。

私も市民の皆さんといっしょに、本当に暮らしやすい市民のまちづくりを進めていきたいと思っています。

この地域福祉計画をきっかけに、さらに多くの市民の皆さんが「暮らしやすいまち」づくりに参加してくださることを願ってやみません。

平成19年3月

鶴ヶ島市長 藤 縄 善 朗